

ニッセイ インターネットアンケート ～「勤労感謝の日・仕事」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「勤労感謝の日・仕事」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2020年10月1日(木)～10月15日(木)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：25,062名(男性:15,507名、女性:9,555名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
	男性	336	990	2,429	5,314	4,391	2,047
女性	456	1,001	1,826	3,342	2,128	802	9,555
合計	792	1,991	4,255	8,656	6,519	2,849	25,062
占率	3.2%	7.9%	17.0%	34.5%	26.0%	11.4%	100%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～7

【仕事・働き方について】

- 昨年と比較して時間外労働時間が「減った」と回答した方は全体で28.6%となった。また、「増えた」と回答した方は全体で11.4%となり、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。
- 業種別では、「増えた」と回答した方は「サービス業」が32.4%と最も多く、次いで「教育・医療・福祉業」が31.9%となった。一方、「減った」と回答した方は「情報通信業」が34.3%となり、最も多かった。
- コロナ禍で月のお給料が「減った」と回答した方は、全体の23.4%となり、減った方の平均減少額は一人当たり約9.8万円となった。
- 業種別では、「情報通信業」の平均減少額が約11.9万円となり、最も多かった。

ポイント②

質問 8～14

【飲みニケーションについて】

- 職場で飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で54.3%となり、昨年から3pt減少した。
- 特にテレワークをしている方は、飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した割合が、全体よりも高い65.7%となった。
- 飲みニケーションが「必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められる」と回答した方は、全体の69.0%となり、最も多かった。
- 年代が若い、年収区分が高いほどオンライン飲み会を「した」割合が高い傾向にあった。

ポイント③

質問 15～19

【副業について】

- 副業を「している」「していた」「興味はある」と回答した方は、全体の46.5%となった。
- コロナ禍で、副業への考えに変化があった方は15.7%となった。
- 年代別では、年代が若いほど「開始した」「検討し始めた」「興味が湧いた」と回答した方が多かった。

質問1 昨年と比較して、時間外労働時間は増えましたか？減りましたか？

(回答者数：16,106名)

- 昨年と比較して時間外労働時間が「減った」と回答した方は全体で 28.6%となった。また、「増えた」と回答した方は全体で 11.4%となり、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。
- 業種別では、「増えた」と回答した方は「サービス業」が 32.4%と最も多く、次いで「教育・医療・福祉業」が 31.9%となった。一方、「減った」と回答した方は「情報通信業」が 34.3%となり、最も多かった。

■昨年と比較した、時間外労働時間の増減<年代別>

	全体 (%)					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
増えた	11.4	19.6	17.1	14.5	11.2	5.6
減った	28.6	26.6	29.9	27.9	29.0	28.3
変わらない	60.0	53.8	53.1	57.6	59.8	66.1

全体で約 3 割の方が「減った」と回答した。また、約 1 割の方が「増えた」と回答し、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。

■昨年と比較した、時間外労働時間の増減<業種別>

	全体 (%)		
	増えた	減った	変わらない
農業・林業・漁業	8.6	15.5	75.9
建設業	9.5	23.2	67.4
製造業	12.4	22.4	65.2
電気・ガス・熱供給・水道業	7.8	30.7	61.4
情報通信業	8.7	34.3	57.1
運輸業・郵便業	7.0	28.6	64.4
卸売業・小売業	11.7	26.0	62.3
金融業・保険業	22.4	21.7	55.8
不動産業	28.3	17.9	53.8
教育・医療・福祉業	31.9	17.6	50.5
サービス業	32.4	12.2	55.4

「増えた」と回答した方は、「サービス業」、「教育・医療・福祉業」、「減った」と回答した方は「情報通信業」が多かった。

質問2 コロナ禍でお給料には月どれくらい影響がありましたか？ (回答者数：16,163名)

- コロナ禍で月のお給料が「減った」と回答した方は、全体の 23.4%となり、減った方の平均減少額は一人当たり約 9.8 万円となった。
- 業種別では、「情報通信業」の平均減少額が約 11.9 万円となり、最も多かった。

■コロナ禍で月のお給料にどれくらい影響があったか

	全体 (%)
	全体
増えた	4.3
減った	23.4
変わらない	72.4

全体で約 2 割の方が「減った」と回答した。

■お給料の平均減少額<業種別・「減った」と回答した方>

	平均 (万円)
全体	9.8
農業・林業・漁業	7.7
建設業	8.4
製造業	8.0
電気・ガス・熱供給・水道業	10.1
情報通信業	11.9
運輸業・郵便業	9.3
卸売業・小売業	9.7
金融業・保険業	10.5
不動産業	8.4
教育・医療・福祉業	9.1
サービス業	8.6

平均減少額は約 10 万円となった。

「情報通信業」の平均減少額が約 12 万円となり、「金融業・保険業」「電気・ガス・熱供給・水道業」で 10 万円超となった。

質問3 会社による新型コロナウイルスへの対策に満足していますか？ (回答者数：17,664名)

○会社による新型コロナウイルスへの対策に「満足」「やや満足」と回答した方は全体で70.7%となった。

■会社による新型コロナウイルスへの対策に満足しているか

	(%)	
	全体	
満足	24.8	70.7
やや満足	45.9	
やや不満足	22.1	29.3
不満足	7.2	

全体で約7割の方が「満足」「やや満足」と回答した。

質問4 【「満足」「やや満足」と回答した方】会社がしている対策は何ですか？

(回答者数：11,774名) ※複数回答可

【「やや不満足」「不満足」と回答した方】会社にしてほしい対策は何ですか？

(回答者数：4,662名) ※複数回答可

○「満足」「やや満足」と回答した方の会社がしている対策は、「消毒液の設置」「マスクの配布」といった新型コロナウイルス対策として日常的に呼びかけられているものが上位となった。
 ○会社にしてほしい対策は、「マスク配布」「テレワーク」などに加えて、「印鑑レス化など社内決裁フローの見直し」「評価体系の見直し」と回答した方が多かった。

■会社でしている対策<10%超>

	(%)
	全体
消毒液の設置	55.8
マスク配布	41.5
懇親会・接待の自粛	34.0
WEB会議	29.9
テレワーク	28.7
イベントの中止	28.3
時差出勤	27.9
出張禁止	16.8
⋮	
印鑑レス化など社内決裁フローの見直し	6.7
⋮	
評価体系の見直し	1.8

■会社にしてほしい対策<10%超>

	(%)
	全体
マスク配布	23.6
テレワーク	18.5
時差出勤	17.1
消毒液の設置	16.0
印鑑レス化など社内決裁フローの見直し	13.0
評価体系の見直し	12.8

「印鑑レス化など社内決裁フローの見直し」「評価体系の見直し」については、会社がしている対策では占率が低かった一方で、してほしい対策の中では回答上位となった。

質問5 【している対策で「テレワーク」を選択した方への質問】テレワークの頻度はどれくらいですか？（回答者数：3,223名）

- テレワークの頻度について、「週1日」と回答した方が、全体で29.0%となり、最も多かった。一方で、「週5日以上」と回答した方が19.9%となった。
- 一週間の中でテレワークをしている平均日数は約2.7日となり、業種別では、「情報通信業」と「サービス業」が約2.9日と最も多かった。
- 会社の規模別に見ると、5,000人以上の会社での平均日数が多かった。
- テレワークの頻度とストレスの関係では、「週1日」と回答した方の中で、30.0%がストレスを「感じている」と回答し、最も多かった。

■テレワークの頻度<年代別>

(%)

	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
週1日	29.0	27.6	29.2	28.9	29.3	28.7
週2日	22.3	17.1	19.6	19.8	22.5	25.7
週3日	17.3	17.1	19.6	17.6	16.0	19.1
週4日	11.4	7.9	12.8	11.2	11.9	10.6
週5日以上	19.9	30.3	18.8	22.4	20.3	16.0

「週1日」と回答した方が、全体で約3割と最も多かった。一方で、「週5日以上」が約2割となった。

■テレワークの平均日数/週<業種別>

(日)

	平均
全体	2.7
農業・林業・漁業	1.0
建設業	2.1
製造業	2.8
電気・ガス・熱供給・水道業	2.3
情報通信業	2.9
運輸業・郵便業	1.7
卸売業・小売業	2.2
金融業・保険業	2.6
不動産業	2.1
教育・医療・福祉業	2.3
サービス業	2.9

「情報通信業」と「サービス業」が最も多かった。

■テレワークの平均日数/週<会社の規模別>

(日)

	平均
50人未満	2.5
50~100人未満	2.5
100~300人未満	2.6
300~1,000人未満	2.2
1,000~5,000人未満	2.5
5,000~10,000人未満	2.8
10,000人以上	2.9

5,000人以上の会社での平均日数が多かった。

■テレワークの頻度とストレスを感じている方の割合（回答者数：3,223名）

(%)

	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
週1日	30.0	28.9	26.1	28.6	30.6	32.1
週2日	21.8	13.2	21.7	20.7	22.1	23.4
週3日	18.1	21.1	21.7	17.9	17.3	18.6
週4日	10.7	5.3	11.8	10.3	11.4	9.3
週5日以上	19.4	31.6	18.6	22.5	18.5	16.6

「週4日」以下ではテレワークの頻度が低いほどストレスを感じている方が多い傾向にあった一方で、「週5日以上」もストレスを感じている方が多かった。

質問 6 仕事・会社でストレスを感じていますか？ (回答者数 : 17,666名)

○仕事・会社でストレスを「強く感じる」「やや感じる」と回答した方は、全体で 65.2 % となった。
 ○年代別では、特に 30代・40代がストレスを感じている割合が高かった。

■ 仕事・会社でストレスを感じているか

(%)

	全体	
強く感じる	17.9	65.2
やや感じる	47.2	
あまり感じない	29.4	34.8
全く感じない	5.4	

「強く感じる」「やや感じる」と回答した方は 6 割超となった。

■ 仕事・会社でストレスを感じているか<年代別>

(%)

	~20代		30代		40代		50代		60代~	
強く感じる	22.7	69.4	20.8	71.1	22.4	73.3	20.1	68.7	8.4	49.0
やや感じる	46.7		50.3		50.9		48.6		40.6	
あまり感じない	26.2	30.7	24.8	28.9	23.0	26.8	27.2	31.3	41.2	51.0
全く感じない	4.5		4.1		3.8		4.1		9.8	

30代・40代がストレスを感じている割合が高かった。

質問 7 【「強く感じる」「やや感じる」を選択した方への質問】何に対してストレスを感じますか？ (回答者数 : 11,518名) ※複数回答可

○ストレスを感じていることは、「やるべきことが多すぎる」と回答した方が 33.3% となった。
 ○男女別では、男性は「やるべきことが多すぎる」と回答した方が 34.6%、女性は「給与が低い」と回答した方が 32.4% となり、最も多かった。
 ○「給与が低い」と回答した方は、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。

■ 何に対してストレスを感じるか<男女別・年代別>

(%)

順位		全体								
				~20代	30代	40代	50代	60代~		
		男性	女性							
1	やるべきことが多すぎる	33.3	34.6	31.1	33.8	35.6	35.0	34.8	25.9	
2	給与が低い	28.1	25.8	32.4	42.0	37.6	28.8	25.0	26.4	
3	職場の雰囲気が悪い(職場の人が嫌い)	20.7	18.9	24.1	21.3	21.3	23.1	20.7	16.8	
4	会社の将来性	14.6	16.9	10.3	10.4	16.9	15.6	14.5	12.9	
5	評価体系	14.2	14.7	13.4	8.2	14.9	14.8	16.4	9.2	

男性は「やるべきことが多い」、女性は「給与が低い」がそれぞれ 3 割超となり最も多く、「給与が低い」と回答した方は、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>



時間外労働時間について、業種別では教育・医療・福祉業やサービス業では約 3 割が「増えた」と回答している一方で、情報通信業では同じく約 3 割が「減った」と回答しています。新型コロナウイルスに対し最前線での対応を求められる医療や福祉などの業種では過重労働が懸念される反面、情報通信業では感染拡大予防の観点から業務内容に制限を設けたことや、そもそもデジタルデータを扱う業種でありテレワークに移行しやすいことが時間外労働時間の削減につながったものと思われます。ただしサービス業では、情報通信業と同様テレワークの頻度も高くなっていることから、職場での密を避けるために交代勤務などでテレワークを導入しているものの、出勤日に業務が集中するなど業務効率も低迷する状況が生まれているのではないのでしょうか。

こうした時間外労働時間の減少も影響してか、お給料が「減った」とする回答も 2 割を超えています。業種別では時間外労働時間が「減った」とする回答が最も多い情報通信業では 11.9 万円の減少と平均の減少額も最も多くなっているほか、コロナ禍でも業務を停止できない、いわゆるエッセンシャルワークに属する金融業・保険業や電気・ガス・熱供給・水道業でも 10 万円以上の減少となっています。

質問 8 職場での“飲みニケーション※”は必要だと思いますか？ (回答者数：25,062名)

※お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること

- 職場で飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で 54.3%となり、昨年から 3pt 減少した。
- 特にテレワークをしている方は、飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した割合が、全体よりも高い 65.7%となった。
- 男女別では、男性の 62.4%が「必要」「どちらかといえば必要」と回答した一方、女性の 58.7%が「不要」「どちらかといえば不要」と回答した。
- 年代別で見ると、年代が高くなるにつれて「必要」「どちらかといえば必要」と回答した割合が高かった。

■飲みニケーションは必要か

	全体 (昨年比)		テレワークをしている方	
		(%)		(%)
必要	14.5	54.3	19.2	65.7
どちらかといえば必要	39.8	(▲3.0)	46.5	
どちらかといえば不要	25.5	45.7	22.2	34.3
不要	20.2	(+3.0)	12.1	

「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は全体の 5 割超となり、テレワークをしている方は全体の割合よりも 1 割以上高かった。

■飲みニケーションは必要か <男女別・年代別>

	男性		女性		～20代		30代		40代		50代		60代～	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
必要	19.1	62.4	7.1	41.3	11.5	46.8	12.7	50.1	14.1	52.9	14.0	53.4	15.9	57.4
どちらかといえば必要	43.3		34.2		35.3		37.3		38.8		39.4		41.5	
どちらかといえば不要	21.1		32.5		27.6		27.3		26.0		27.4		22.9	
不要	16.5	37.6	26.1	58.7	25.6	53.2	22.7	49.9	21.1	47.1	19.2	46.6	19.7	42.6

男性の約 6 割が「必要」「どちらかといえば必要」と回答した一方、女性の約 6 割が「不要」「どちらかといえば不要」と回答した。年代別で見ると、年代が高くなるにつれて「必要」「どちらかといえば必要」と回答した割合が高かった。

質問9 【「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：13,763名) ※複数回答可

○飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められる」と回答した方は、全体の69.0%となり、最も多かった。
○年代別では、全年代で半数以上が「本音を聞ける・距離を縮められる」と回答し、30代以下は「悩みを相談できる（仕事）」と回答した割合も高かった。

■理由<男女別・年代別>

(%)

	全体			～20代	30代	40代	50代	60代～
	男性	女性						
本音を聞ける・距離を縮められる	69.0	70.2	66.4	52.6	66.6	71.2	74.5	64.9
情報収集を行える	45.7	47.2	42.1	35.8	43.9	42.1	46.0	47.9
人脈を広げられる	41.7	43.5	37.6	38.8	40.9	40.5	41.3	42.8
ストレス発散になる	37.2	40.0	30.7	30.2	36.2	37.5	38.0	37.0
悩みを相談できる（仕事）	29.4	29.8	28.7	39.9	41.0	34.7	28.9	24.8
お酒が好き	15.7	18.0	10.4	15.9	19.5	17.9	16.9	13.2
悩みを相談できる（プライベート）	13.1	14.4	10.0	18.3	18.1	13.1	13.3	11.5
色々なお店に行ける	11.1	10.2	13.5	17.0	14.3	12.8	11.6	9.0

「本音を聞ける・距離を縮められる」と回答した方が、全体の約7割となり、また、30代以下は「悩みを相談できる（仕事）」と回答した割合も高かった。

質問10 【「どちらかといえば不要」「不要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：11,564名) ※複数回答可

○飲みニケーションが「どちらかといえば不要」「不要」と回答した理由として、「気を遣う」と回答した方は全体で39.8%となり、最も多かった。
○年代別では、30代以下は「お金がもったいない」と回答した割合も高かった。

■理由<男女別・年代別>

(%)

	全体			～20代	30代	40代	50代	60代～
	男性	女性						
気を遣う	39.8	36.6	43.2	46.2	49.8	46.0	42.2	31.3
仕事の延長と感じる	34.4	34.8	34.1	31.8	38.8	37.9	37.4	28.8
お酒が好きではない	32.5	32.5	32.6	28.0	34.8	33.9	33.0	31.1
拘束時間が長い	27.3	28.8	25.8	27.0	36.6	31.2	28.5	21.7
お金がもったいない	24.6	26.3	23.0	33.2	40.8	32.9	25.9	14.4
職場で十分コミュニケーションが取れている	19.7	21.0	18.5	16.6	19.5	19.4	21.2	18.8
上司が嫌い	5.9	6.3	5.5	10.0	8.5	8.9	6.7	2.6
説教をされたくない	5.4	6.8	4.0	6.9	9.2	7.5	5.7	3.0
同僚が嫌い	3.5	3.7	3.2	0.9	4.3	5.4	4.2	1.9
部下が嫌い	1.8	2.3	1.2	1.2	1.9	2.9	2.1	1.0

「気を遣う」と回答した方は約4割となり、30代以下は次いで、「お金がもったいない」と回答した割合が高かった。

質問 11 コロナ禍でオンライン飲み会が話題になっていますが、職場の方とオンライン飲み会をしましたか？（回答者数：23,347名）

○職場の方とオンライン飲み会を「した」と回答した方は5.5%、「していない」と回答した方は94.5%となった。
○年代が若い、年収区分が高いほどオンライン飲み会を「した」割合が高い傾向にあった。

■職場でオンライン飲み会をしたか<年代別>

(%)

	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
した	5.5	11.3	8.1	6.8	6.2	3.2
していない	94.5	88.7	91.9	93.2	93.8	96.8

5.5%の方が「した」と回答し、年代が若いほど「した」割合が高い傾向にあった。

■職場でオンライン飲み会をしたか<年収別>

(%)

	した	していない
300万円未満	3.0	97.0
300~500万円未満	4.2	95.8
500~700万円未満	6.4	93.6
700~1,000万円未満	8.5	91.5
1,000~1,500万円未満	15.3	84.7
1,500万円以上	21.8	78.2

年収区分が高いほど「した」割合が高い傾向にあった。

質問 12 【オンライン飲み会を「した」と回答した方への質問】オンライン飲み会と対面での飲み会ではどちらのほうが「飲みニケーション」できますか？（回答者数：1,295名）

○83.3%の方が「対面での飲み会」の方が飲みニケーションできると回答した。
○20代以下・30代は他の年代と比べて「オンライン飲み会」と回答した割合が高かった。

■どちらの方が飲みニケーションできるか<男女別・年代別>

(%)

	全体							
				~20代	30代	40代	50代	60代~
		男性	女性					
オンライン飲み会	16.7	15.1	21.7	37.0	21.3	18.5	12.2	14.9
対面での飲み会	83.3	84.9	78.3	63.0	78.7	81.5	87.8	85.1

20代以下・30代は「オンライン飲み会」と回答した割合が高かった。

質問 13 【「オンライン飲み会」と回答した方への質問】 その理由は何ですか？

(回答者数：215名) ※複数回答可

- オンライン飲み会の方が飲みニケーションできると回答した理由として、「好きなものを飲食できる」が46.0%と最も多く、次いで「自分のペースで飲める」と回答した方が36.7%となった。
- 年代別では、「好きなものを飲食できる」と回答した方は30代・40代、「自分のペースで飲める」は40代で特に多かった。
- 20代以下は「出費をコントロールしやすい」と回答した方が46.7%となり、最も多かった。

■理由<年代別>

	全体 (%)					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
好きなものを飲食できる	46.0	40.0	62.5	52.9	41.3	35.9
自分のペースで飲める	36.7	20.0	37.5	49.0	33.3	38.5
遠方の方とも集まりやすい	35.8	30.0	31.3	31.4	33.3	53.8
帰りを心配しなくてよい(終電など)	32.6	36.7	25.0	29.4	31.7	41.0
出費をコントロールしやすい	30.2	46.7	34.4	35.3	25.4	15.4
場所の予約が不要	22.3	13.3	25.0	25.5	17.5	30.8
割り勘の不公平感がない	16.7	26.7	15.6	19.6	15.9	7.7
身だしなみを整えなくてよい	9.3	10.0	6.3	9.8	9.5	10.3
直接的なセクハラを受ける心配がない	4.2	10.0	6.3	3.9	1.6	2.6
アプリのフィルター機能で写りをよくできる	3.3	6.7	3.1	3.9	3.2	0.0
ゲームができる	2.3	10.0	0.0	2.0	1.6	0.0

「好きなものを飲食できる」と回答した方は特に30代・40代、「自分のペースで飲める」は40代で多かった。20代以下は「出費をコントロールしやすい」と回答した方が最も多かった。

質問 14 【「対面での飲み会」と回答した方への質問】 その理由は何ですか？

(回答者数：1,069名) ※複数回答可

- 対面での飲み会の方が飲みニケーションできると回答した理由として、80.9%の方が「コミュニケーションが取りやすい」と回答した。
- 年代別では、「コミュニケーションが取りやすい」の他に、20代以下は「誰かと個別で話すこともできる」、30代以下は「普段行かない場所やお店に行ける」と回答した方が多かった。

■理由<年代別>

	全体 (%)					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
コミュニケーションが取りやすい	80.9	84.3	77.1	80.4	82.1	80.3
誰かと個別で話すこともできる	35.5	43.1	24.6	38.7	36.3	35.0
同居の家族のことを気にする必要がない	26.6	19.6	29.7	30.7	28.3	18.8
普段行かない場所やお店に行ける	25.1	37.3	31.4	27.1	20.4	26.5
回線が途切れるなどのアクシデントがない	23.1	23.5	23.7	23.1	22.6	23.8
食事の用意や後片付けの必要がない	22.7	25.5	29.7	24.4	21.0	20.2
終電など時間が区切りやすい	16.0	25.5	22.0	16.4	17.3	7.6
プライベートをさらさないで済む	9.1	7.8	14.4	12.0	7.7	6.3

全体で約8割の方が「コミュニケーションが取りやすい」と回答した。「誰かと個別で話すこともできる」と回答した方は特に20代以下で多く、「普段行かない場所やお店に行ける」は特に30代以下で多かった。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

職場の飲みニケーションについては、「必要」とする方が半数を超えており、特にテレワークをしている方では6割を超えて高くなっています。「必要」とする回答は昨年と比べ僅かに減少している中、テレワークをしている方で「必要」とする回答が多くなっていることは、テレワークにより職場での直接のコミュニケーションが減ったことで飲みニケーションの効用を再評価する動きにつながったとも考えられそうです。

一方、女性では飲みニケーションを「不要」とする回答が6割近くを占めて多くなっているものの、「不要」と考える理由への回答には男女差は見られないことは、男性の方が高い“人脈の拡大”や“ストレス発散”といった目的では、女性は飲みニケーションを活用できていないことなどを意味しているのではないのでしょうか。女性では、男性に比べ「オンライン飲み会」の方が飲みニケーションできると回答した割合が高くなっていることもこうした状況の背景理解の一助となるでしょう。

質問 15 副業をしていますか？ (回答者数：19,021名)

○副業を「している」「していた」「興味はある」と回答した方は、全体の46.5%となった。
○40代以下は半数以上が「している」「していた」「興味はある」と回答した。

■副業をしているか<年代別>

	全体 (%)											
	全体		~20代		30代		40代		50代		60代~	
している	6.7	46.5	7.0	51.0	7.6	55.6	6.4	52.3	6.4	48.0	7.0	37.3
していた	4.2		3.7		4.4		4.4		4.1		4.1	
興味はある	35.7		40.3		43.6		41.6		37.5		26.2	
興味なし	53.5	53.5	49.0	49.0	44.4	44.4	47.7	47.7	52.0	52.0	62.7	62.7

「している」「していた」「興味はある」と回答した方は全体の半数近くなり、40代以下は半数以上が回答した。

質問 16 コロナ禍で副業への考えに変化はありましたか？ (回答者数：18,897名)

○コロナ禍で、副業への考えに変化があった方は15.7%となった。
○年代別では、年代が若いほど「開始した」「検討し始めた」「興味が湧いた」と回答した方が多かった。

■コロナ禍で副業への考えに変化はあったか<年代別>

	全体 (%)											
	全体		~20代		30代		40代		50代		60代~	
開始した	1.1	15.7	3.4	27.0	2.6	25.3	1.3	21.0	0.8	15.4	0.6	7.9
検討し始めた	3.4		6.3		5.6		3.8		3.5		1.8	
興味が湧いた	11.2		17.2		17.1		16.0		11.1		5.5	
変わらない	84.3	84.3	73.0	73.0	74.7	74.7	79.0	79.0	84.6	84.6	92.1	92.1

コロナ禍で考えに変化があった方の割合は約15%となり、年代が若いほどその割合が高い傾向にあった。

質問 17 【「開始した」「検討し始めた」「興味が湧いた」を選択した方への質問】 その理由は何か？（回答者数：2,961名）※複数選択可

- コロナ禍で副業への考えに変化があった理由として「経済的に余裕を持ちたいため」と回答した方が64.4%となり、次いで「勤務先の将来に不安を感じたため」と回答した方が23.2%となった。
- 年代別では、年代が若いほど「経済的に余裕を持ちたいため」「勤務先の将来に不安を感じたため」と回答した割合が高い傾向にあった。

■理由<年代別>

	全体 (%)					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
経済的に余裕を持ちたいため	64.4	73.8	68.6	67.7	62.5	55.7
勤務先の将来に不安を感じたため	23.2	29.1	26.5	26.3	23.0	12.1
在宅中のできるため	19.6	20.3	23.6	15.4	19.5	23.0
経済的に困窮しているため	17.5	23.3	18.9	17.7	18.0	12.1
時間に余裕ができたため	17.3	13.4	13.7	13.6	17.6	28.7
本業のスキルアップのため	10.6	7.6	13.0	9.7	11.1	10.2
人脈を広げるため	10.1	7.0	9.7	10.3	10.5	10.4
余剰資金の有効活用のため	9.9	8.1	12.3	9.0	10.0	9.5
転職活動のためのスキルアップのため	9.5	11.6	10.6	8.7	10.4	6.9
通勤時間が空いたため	6.8	4.1	5.9	6.2	8.2	5.9

「経済的に余裕を持ちたいため」「勤務先の将来に不安を感じたため」と回答した方が多く、年代が若いほど割合が高い傾向にあった。

質問 18 【「現在している」「検討し始めた」「興味が湧いた」を選択した方への質問】 副業でしていること・検討していることは何か？（回答者数：2,961名）※複数選択可

- 副業をしている方では、「株・FX」と回答した方が全体で19.2%となり最も多かった。
- 検討している方、興味が湧いた方は、「株・FX」に次いで「アンケートモニター」「ネット販売」と回答した方が多かった。特に若い年代で回答した方が多く、他には「動画作成・投稿」といった回答をした方も多かった。

■副業でしていること<年代別>

	している方 (%)					
	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
株・FX	19.2	27.3	11.6	23.4	23.0	10.0
ネット販売	16.7	18.2	14.0	23.4	9.8	23.3
アンケートモニター	9.4	18.2	7.0	10.6	6.6	10.0
不動産投資	6.9	0.0	4.7	8.5	11.5	3.3
WEBサイト運営	4.4	9.1	11.6	0.0	0.0	6.7
クラウドワーカー	3.9	4.5	7.0	2.1	1.6	6.7
ライター	3.9	0.0	2.3	2.1	4.9	10.0
フードデリバリーサービスなどの配達員	3.4	4.5	7.0	4.3	0.0	3.3
自分の空き時間販売	3.4	0.0	2.3	4.3	6.6	0.0
講演・セミナーに登壇	3.0	4.5	2.3	0.0	3.3	6.7
ハンドメイド・グッズ販売	3.0	0.0	2.3	4.3	3.3	3.3

「株・FX」と回答した方は全体で約2割となり最も多かった。

■ 副業で検討している・興味が湧いたこと<年代別>

(%)

	検討している方						興味が湧いた方					
	全体						全体					
		~20代	30代	40代	50代	60代~		~20代	30代	40代	50代	60代~
株・FX	26.3	20.0	36.2	29.8	23.3	22.7	27.4	26.4	27.3	30.4	26.7	23.7
アンケートモニター	18.9	37.5	19.1	17.0	19.5	12.4	20.4	30.0	28.7	19.1	19.0	15.6
ネット販売	15.1	22.5	23.4	19.9	11.8	6.2	12.7	10.0	15.4	13.5	11.5	12.9
WEBサイト運営	8.0	10.0	16.0	9.2	6.1	3.1	4.0	4.5	6.6	4.5	3.4	2.0
クラウドワーカー	6.6	5.0	7.4	9.9	5.7	4.1	5.3	7.3	7.0	4.5	4.7	6.1
自分の空き時間販売	6.0	2.5	5.3	5.0	5.3	11.3	6.6	2.7	7.0	5.5	7.8	6.4
不動産投資	5.8	7.5	10.6	6.4	4.2	4.1	5.2	6.4	6.3	5.7	5.0	3.4
ハンドメイド・グッズ販売	5.4	5.0	6.4	7.8	5.0	2.1	5.1	8.2	8.0	6.0	4.0	2.7
動画作成・投稿	5.4	15.0	5.3	5.7	4.6	3.1	4.7	10.0	6.3	5.0	4.1	2.0
ライター	5.2	10.0	8.5	2.8	5.7	2.1	4.4	5.5	7.0	4.5	4.1	2.4
農業	4.9	0.0	6.4	6.4	5.0	3.1	7.8	2.7	6.3	8.0	7.5	11.2

「株・FX」に次いで「アンケートモニター」や「ネット販売」と回答した方が多かった。特に若い年代では、「動画作成・投稿」といった回答をした方も多かった。

質問 19 【「現在している」を選択した方への質問】収入全体の中で、副業の収入が占める割合を教えてください。(回答者数:1,211名)

○収入全体の中で、副業の収入が占める割合の平均は 24.0%となり、年代が高いほどその割合が高かった。

■ 収入全体の中で、副業の収入が占める割合の平均<年代別>

(%)

	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代~	
平均	24.0	17.0	21.0	23.0	24.0	25.0

平均は 2 割超となり、年代が高いほどその割合が高かった。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀いのうえ ともきのコメント>

副業の経験や興味は、40代以下の若年層では半数を超えて多くなっています。また、コロナ禍を機に興味を持ったり、実際に副業を始めた方は全体では1割を超えており、30代以下では4人に1人が副業への考え方に変化があったとしています。こうした変化の理由として「経済的な余裕を持ちたいため」や「勤務先の将来に不安を感じたため」が多く挙げられ、若年層ほど高くなっていることは、コロナ禍での自身の収入の減少や実質的に自宅待機に近いテレワークの経験、勤務先の業績動向などに対する不安が副業に対する意識変化や実際の行動につながっているものと思われます。

以上